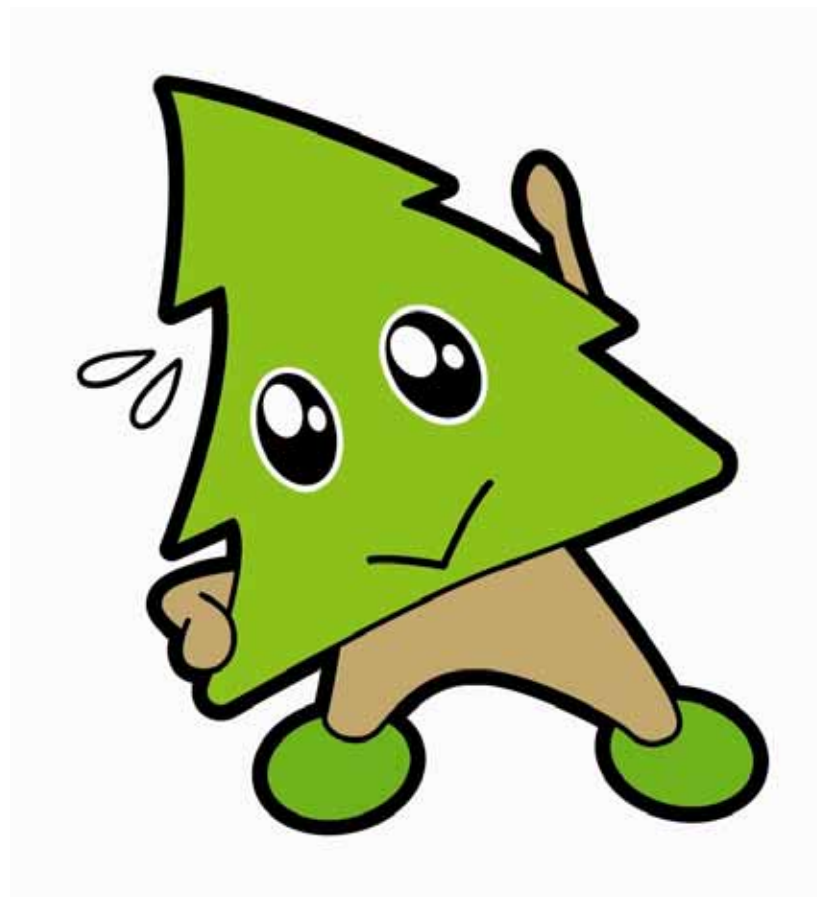


秋田県が乗り越えるべき指標

(平成20年12月8日改訂)



秋田県学術国際部 調査統計課 企画・解析班 電話: 018 - 860 - 1254

秋田県が乗り越えるべき指標(都道府県順位ワースト3指標)

学術国際部 調査統計課 企画・解析班

*順位欄に(逆)の表記はマイナス指標です。

(平成20年12月8日改訂)

分野	順位	項目	数値	年・年度	資料出所等
人口世帯	46	年少人口割合(15歳未満) (対総人口)	12.1%	平成18年	総務省「統計でみる都道府県のすがた2008」 47位 東京都(11.6%)、45位 北海道(12.6%) 全国13.6%
	46	生産年齢人口割合(15～64歳) (対総人口)	60.4%	〃	〃 47位 島根県(59.1%)、45位 鹿児島県(60.5%) 全国65.5%
	2 (逆)	老年人口指数 (老年人口/生産年齢人口×100)	45.3p	〃	〃 1位 島根県(46.7p)、3位 高知県(43.7p) 全国31.8p
	2 (逆)	従属人口指数 (年少+老年人口)/生産年齢人口×100)	65.4p	〃	〃 1位 島根県(69.2p)、3位 鹿児島県(65.2p) 全国52.6p
	47	人口増加率 (総人口-前年総人口)/前年総人口)	-1.02%	〃	〃 46位 青森県(-0.98%)、45位 高知県(-0.86%) 全国0.00%
	47	自然増加率(人口千人当たり)	-5.6人	平成19年	厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」 46位 高知県(-4.3人)、45位 島根県(-3.8人) 全国-0.1人
	47	出生率(人口千人当たり)	6.7人	〃	〃 46位 青森県(7.2人)、45位 高知県(7.3人) 全国 8.6人
	1 (逆)	死亡率(人口千人当たり)	12.3人	〃	〃 2位 島根県(11.9人)、3位 高知県(11.6人) 全国 8.8人
	45	社会増加率 (転入者数-転出者数)/総人口)	-0.51%	平成18年	総務省「統計で見る都道府県のすがた2008」 47位 青森県(-0.67%)、46位 長崎県(-0.65%) 全国 -
	45	転入率 (転入者数/総人口)	1.21%	〃	〃 47位 北海道(0.94%)、46位 新潟県(1.07%) 全国2.03%
	45	流入人口比率 (対総人口)	0.220%	平成17年	総務省「社会生活統計指標2008」 47位 北海道(0.0736%)、46位 沖縄県(0.0739%) 全国4.60% * 流入人口:国勢調査の従業地・通学地による人口のうち、常住地が他県の市区町村にある人口
	47	婚姻率(人口千人当たり)	4.0組	平成19年	厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」 46位 島根県(4.4組)、45位 高知県(4.6組) 全国5.7組
経済基盤	46	土地生産性 (耕地面積1ヘクタール当たり)	122.6万円	平成17年	総務省「統計でみる都道府県のすがた2008」 47位 北海道(91.2万円)、45位 滋賀県(123.6万円) 全国187.7万円 * 農業の生産性を示す指標としては、他に農業総生産(または純生産)を就業人口で除して表す農業の労働生産性という指標もある。
	47	住宅地の平均価格	20,200円/m ²	平成20年	国土交通省「都道府県地価調査」 46位 北海道(22,000円/m ²)、45位 青森県(24,000円/m ²) * 「商業地」、「工業地」、「宅地見込地」、でも47位 * 「市街化調整区域内宅地」は46位
	47	製造品出荷額等(従業者1人当たり)	1,845.4万円	平成17年	総務省「統計でみる都道府県のすがた2008」 46位 青森県(2,048.1万円)、45位 高知県(2,054.5万円) 全国3,625.3万円
	47	県民雇用者報酬(雇用者1人当たり)	369.0万円	平成17年度	内閣府HP「平成17年度 県民経済計算」より 46位 沖縄県(369.2万円)、45位 青森県(385.1万円) 全国488.4万円

分野	順位	項目	数値	年・年度	資料出所等
教育	47	最終学歴が短大・高専卒の者の割合	7.5%	平成12年	総務省「統計でみる都道府県のすがた2008」 46位 青森県(7.8%)、45位 山形県(8.3%) 全国12.0% *10年ごとの調査のため、平成17年度国勢調査では調査対象外であった *学歴を有する者総数に対する短大・高専卒が最終学歴の者の割合
	46	最終学歴が大学・大学院卒の者の割合	7.3%	"	" 47位 青森県(7.2%)、45位 岩手県(8.1%) 全国14.8% *10年ごとの調査のため、平成17年度国勢調査では調査対象外であった *学歴を有する者総数に対する大学・大学院卒が最終学歴の者の割合
労働	45	新規就業率(新規就業者数/有業者数)	4.8%	平成19年	総務省「就業構造基本調査報告」平成19年 47位 山形県(4.2%)、46位 新潟県(4.7%)、同率45位 福井県 全国6.1%
	47	高等学校新規卒業者初任給(月額)(男)	135.1千円	平成18年	総務省「統計でみる都道府県のすがた2008」 46位 沖縄県(135.3千円)、45位 宮崎県(140.8千円) 全国157.6千円
	46	高等学校新規卒業者初任給(月額)(女)	130.8千円	"	" 47位 沖縄県(128.9千円)、45位 長崎県(133.6千円) 全国149.4千円
生活	46	海外渡航者数(人口1万人当たり)	361.5人	平成19年	総務省「人口推計」(日本人)平成19年、法務省「出入国管理統計年報」平成19年 47位 青森県(326.5人)、45位 岩手県(382.6人) 全国1,371.6人
	46	一般旅券発行件数(人口千人当たり)	14.7件	平成18年	総務省「統計でみる都道府県のすがた2008」 47位 青森県(13.6件)、45位 岩手県(16.0件) 全国33.7
住居	46	水洗便所のある住宅比率 (対居住世帯あり住宅数)	64.1%	平成15年	" 47位 岩手県(61.2%)、45位 佐賀県(65.6%) 全国88.4%
	46	上水道給水人口比率(対行政区内人口) (住民基本台帳人口+外国人登録人口)	87.40%	平成17年	総務省「社会生活統計指標2008」 47位 熊本県(83.94%)、45位 大分県(87.44%) 全国96.12%
	46	水洗化人口比率 (対下水道処理区域人口)	72.0%	平成17年度	社団法人日本下水道協会「下水道統計 第62号」 47位 和歌山県(67.3%)、45位 高知県(75.5%) 全国91.7%
健康医療	47	悪性新生物死亡率(人口10万人当たり)	352.5人	平成19年	厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」 46位 島根県(346.1人)、45位 和歌山県(333.4人) 全国266.9人
	47	脳血管疾患死亡率(人口10万人当たり)	175.6人	"	" 46位 岩手県(161.8人)、45位 高知県(158.4人) 全国100.8人
	47	自殺による死亡率(人口10万人当たり)	37.6人	"	" 46位 宮崎県(34.6人)、45位 青森県(33.4人) 全国24.4人
	47	生活習慣病による死者数 (人口10万人当たり)	706.3人	平成18年	総務省「人口推計」(日本人)平成18年、厚生労働省「人口動態調査」平成18年 46位 島根県(673.5人)、45位 高知県(662.6人) 全国515.3人 *生活習慣病:悪性新生物、糖尿病、高血圧性疾患、心疾患(高血圧性疾患除く)、脳血管疾患
	46	肺炎による死亡率(人口10万人当たり)	129.5人	平成19年	厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」 47位 鹿児島県(132.2人)、45位 山口県(127.9人) 全国87.4人
	46	腎不全による死亡率(人口10万人当たり)	27.5人	"	" 47位 高知県(31.6人)、45位 鹿児島県(25.8人) 全国17.2人
	46	不慮の事故による死亡率(人口10万人当たり)	48.8人	"	" 47位 高知県(51.3人)、45位 福井県(45.1人) 全国30.1人

分野	順位	項目	数値	年・年度	資料出所等
健康 医療	46	平均余命(0歳・男)	77.44年	平成17年	厚生労働省「都道府県別生命表」 47位 青森県(76.27年)、45位 岩手県(77.81年) 全国78.79年
	45	平均余命(65歳・男)	17.73年	〃	〃 47位 青森県(17.04年)、46位 栃木県(17.73年) 全国18.33年
	45	平均余命(0歳・女)	85.19年	〃	〃 47位 青森県(84.80年)、46位 栃木県(85.03年) 全国85.75年
	46	肥満傾向児の出現率 (小学校6歳)	8.56%	平成19年度	文部科学省「学校保健統計調査」 47位 青森県(9.20%)、45位 岩手県(8.19%) 全国4.75% 秋田県は10,15,16,17歳でも全国46位に該当